

（寄稿）

福井県済生会病院における部分最適から全体最適への取り組み ～ 日本経営品質賞（大規模部門）受賞の変遷 ～

NOMURA

2012 年福井県済生会病院は、日本経営品質賞を受賞した。医療機関による大規模部門での受賞は日本初である。

福井県済生会病院は、1941 年に福井診療所として始まり、現在は、県内における中核病院の一つとして、460 床、診療科 23 科、職員数 1,400 名と大規模病院となっている。移転新築直後の 1993 年時点に約 500 名であった職員数は現在では、1,400 名を超えている。1,000 名を超えたころから組織間のベクトル統一が困難になり、方向性を見失いつつあったという。

その様な中、独自のマネジメントシステム（SQM；Saiseikai Quality Management system）を立ち上げ、最終的には、職員満足度（ES）の向上から患者満足度（CS）の向上に結びつけるという成果を挙げている。

経営管理手法はいろいろあるが、ISO9001 やバランスト・スコアカード（BSC）、シックスシグマのそれぞれの長所を、医療機関の実情に合わせ融合させているところが、SQM の興味深いところだ。

日本経営品質賞は、公益財団法人日本生産性本部が 1995 年 12 月に創設した表彰制度で、選考時の最高意思決定を行うその委員会は、日本の各界を代表するリーダー 8 名で構成されている。2013 年までの 18 年間で 213 組織が申請し、34 組織が受賞している。

本稿は、日本経営品質賞受賞に至る活動内容やその考え方など福井県済生会病院 事務副部長兼経営企画課長の齋藤 哲哉 氏にデータ等も交えご紹介いただいた。

ES から CS に繋げるという成果を出すまでの一連の取り組みの中で、職員間の対話との中で生まれる「気づき」を大切にしており、組織体制作りやベクトル合わせ等の課題を抱える医療機関にとっては興味深い内容になっている。

（市川）

2014 年 9 月 22 日

Healthcare note

（No. 14-10）

寄稿者名：
福井県済生会病院
事務副部長兼経営企画課課長
齋藤 哲哉

編集主幹：
野村ヘルスケア・
サポート&アドバイザー
市川 剛志

野村證券株式会社
金融公共公益法人部

野村證券株式会社 金融公共公益法人部 〒100-8130 東京都千代田区大手町 2-2-2 アーバンネット大手町ビル

本資料に含まれる情報がもたらす一切の影響、本資料の内容に関する正確性、妥当性、法務上のコンプライアンス等につきましては、野村證券はその責を一切負いません。本資料中の記載内容における各種法令・規則等は随時改定されますので、あくまでも参考資料としてお取り扱いください。また、記載内容における法令・規則及び表現等の欠落・誤謬などにつきましては、野村證券はその責を一切負いません。本資料は、貴社が経営判断を行うに際して参考となると考えられる情報の提供を目的としたものです。経営判断における最終意思決定は貴社自身で行われるものであり、野村證券はこれに対する意見または判断を表明するものではありません。本資料のご利用に際しては、弁護士、公認会計士等にあらかじめその内容をご確認ください。